

一八一〇

6990

98

功績  
第五戰隊機密第五號ノ三九

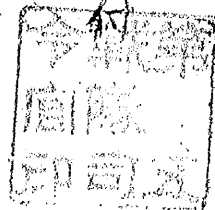
自昭和十八年十月一日  
至昭和十八年十月三十一日

第五戰隊戰時日誌

第五戰隊司令部

9  
12

十一月五日送付



18.12.5  
陸軍

0290

93



- 目次
- 一、經過
  - 二、人員ノ現狀
  - 三、令達報告等
  - 四、作戰經過概要

自昭和十八年十月一日  
至昭和十八年十月三十一日

第五戦隊戦時日記

一、経過

(1) 敵情及我が軍ノ情況

十月六日米機動部隊ハ大挙大島島ニ來襲シ我が聯合艦隊  
ハ丙作戦第一法用意發令アリシモ八日右敵警戒ヲ解除セラレ

タリ

我がコナツヨダヤ島部隊ハ九月末以降「セ」號作戦實施  
施中ノ處 十月上旬之ヲ概成セリ

十月十二日「バウル」大空襲アリ爾後敵ハ我が南東方面  
航空撃滅戦ヲ企圖セルモノノ如ク「ソロモン」方面大空襲ヲ  
連續實施シツツアリシガ十月二十七日未明敵攻略部隊ハ  
「モ」島ニ來攻上陸ヲ開始同三十一日敵大輸送船團ハ艦艇

## (四) 行 動

十数隻ニ護衛セラレソノモシ西方ヲ北上進攻ヲ開始セリ

第五戦隊ハ遊撃部隊トシテ「トラック」ニ在リテ待機警  
戒中十月九日南東方面部隊ニ編入セラレ十月十日「トラック」  
環礁内ニ於テ準備戦技作業實施上十月十日「トラック」  
發「ラバウル」ニ進出 同十三日着南東方面第一襲撃部隊  
トシテ「ラバウル」ニ警泊中 十月十八日、二十三日、二十四日、二十五  
日、二十九日何レモ敵機約百機ノ大空襲アリ其ノ都度急  
速出港之ヲ港外ニ回避シツツ激烈ナル對空戦ヲ實施セリ  
十月二十日敵偵察若干「ジンピー」岬見張所附近ニ上陸  
セリトノ報アリ 出撃準備ヲ整へ待機セルモ出撃スルニ至ラハ  
二十三日右出撃準備ヲ解カル  
十月二十七日敵攻略部隊ハ「ト」島ニ上陸スルヤ「南東方

面部隊第三邀撃作戦發動アリ聯合襲撃部隊ヲ率斗  
 急速出撃<sup>急進</sup>セトセシテ敵ハ上陸終了艦船ハ避退セルヲ以テ出  
 撃取止メトナリ翌二十八日邀撃作戦A法發動ヲ解カル  
 十月三十一日我が索敵機敵大輸送船團カ十隻ノ護衛  
 艦艇ト共ニ「エー」ヨジヤ島西方ヲ北上スルヲ發見再ビ第三  
 邀撃作戦發動セラシ聯合襲撃部隊ヲ率斗一四三〇「エ  
 ス」出撃敵ヲ「エ」島西方海面ニ捕捉撃滅ノ任ヲ以テ進撃

(當隊戰鬥詳報第一號參照)

一	一〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	日		
トラック環礁外出動訓練(準甲種戦技實施)											トラック	妙	高

川 麾下艦船ノ行動所在

二四	二三	二二	二一	二〇	一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三	一二
<p>（急速出港之外ニ空襲回避） （急速出港之外ニ空襲回避） 「ラバウル」</p>											航 海	
<p>（急速出港之外ニ空襲回避） （急速出港之外ニ空襲回避） 「ラバウル」</p>											同 上	
<p>（急速出港之外ニ空襲回避） （急速出港之外ニ空襲回避） 「ラバウル」</p>											同 上	

三十一	三十	二十九	二十八	二十七	二十六	二十五
出撃 (敵艦ヲ捕撃滅セス)	急速出港之外ニ空襲回避 「ラバウル」		急速出港之外ニ空襲回避		急速出港之外ニ空襲回避	
同上	對空戰鬥實施		對空戰鬥實施		對空戰鬥實施	



人員、現狀  
司令部

職員官氏名

職員	主務	官	氏名	記	事
司令官		少將	大森仙太郎		
參謀	首席 (水雷・航空)	中佐	山田盛重		
同	通信 (通信・砲術)	少佐	半田仁貴知		八月十五日附吳鎮付
同	機關 (機關・工作)	同	河野信良		十月七日退部
同	同 (同)	同	松本尚		八月十五日附參謀 十月六日着任
司令部附	暗號長	兵曹長	山崎吉惠		
兵種	水兵科	主計科	備人	合	計
員數	一九	五	一	二	五

(二) 下士官兵及其他員數 (十月一日現在)

(2) 麾下總員數(十月一日現在)

記 事	教 員			種 別	
	計	羽 黒	妙 高		司 令 部
( ) 内数字ハ第三艦隊司令部附	五五(一)	二六(一)	二五	四	士 官
	五七	二八	二八	一	特 准
	七〇四(一)	三四〇(一)	三五三(一)	一	下 士 官
	一〇九七	五五一	五三三	一	兵
	八	四	三	一	其 他
	一九二一(三)	九四九(三)	九四二(一)	三〇	計

三			二			一			日
ク			ツ			ラ			所
三 五 一 北 東 曼			三 五 二 北 東 曼			三 五 二 北 東 曼			六 〇 三 〇 八 〇
三 〇 五 二 東 曼			三 五 四 二 北 東 曼			三 五 三 三 西 曼			三 〇 〇 〇 〇 〇
四 六 四 東 曼			七 九 四 二 北 東 曼			六 六 三 三 北 曼			八 〇 〇 〇 〇 〇
			隊			艦			任
			隊			合			務
			合			聯			任
			合			聯			務
									特
									別
									主
									要
									行
									動
									主
									要
									作
									業
									記
									事

四、作戰經過概要

24

七	六	五	四
ク ツ ラ ト			
三三 三五 五 北東 曇	三三 三 北東 晴	三五 三 南西 晴	四三 二 南 晴
三三 三 東 曇	四三 四 北西 晴	四五 二 南東 晴	四三 四 南東 曇
六三 三 南東 曇	五三 四 南西 雨	三三 二 北東 晴	一三 四 南東 曇
隊 戦 五 第 隊 艇 二 第			
衛 衛 衛 隊 部 動 機			

1737 丙作戦一法 桐葉隊令サレ	0745 丙作戦一法 桐葉隊令サレ		トラスシニ敬告泊 教育訓練ニ従事

	十一	十	九	八
航	回	ク	ツ	ラ
二〇 三〇 三〇 一五	三三 三三 三三 三三	四〇 三〇 三〇 一〇	四〇 三〇 三〇 一五	四〇 三〇 三〇 一〇
西 南 南 南	西 南 南 南	西 南 北 西	南 南 北 東	南 南 南 東
雨 曇 曇 曇	雨 曇 曇 曇	晴 曇 曇 曇	晴 晴 晴 晴	曇 曇 曇 曇

隊部雲襲一第隊部面方東南 隊主隊部雲遊

1400 SS 長波涼風ヲ 率ヲ上ラシテ出撃	2007 トラスシ歸着	0500 トラスシ環礁外ニ 出勤	
	實施	SS 聯合艦外出勤訓練 (津中糧戰技作業)	丙作戦一法 用意敵警戒ヲ 解カル
			第五戦隊ハ 南東方面部隊 ニ編入スル

25

十五	十四	十三	十二
ル	少	バ	ラ
四五	四五	四五	四五
北西晴	南晴	北西曇	東晴
南東晴	東南曇	北曇	東北晴
東晴	東南晴	南西曇	東北曇
艦	二	隊	合
一	第	部	方
擊	隊	面	東
邀	艦	敵	南

		ヨバウ止着 のハ長波涼風	
	ヲ整へ待機ス	ヨバウ止ニ敵言泊 對空警戒ヲ嚴 ニシツ、邀撃ヲ準備	

九	八	七	六
ル	ウ	バ	ラ
四。三。三。東晴 三。三。三。東晴 一。三。三。南晴	三。三。二。南曇 三。三。三。東曇 一。三。三。南曇	三。三。一。東曇 四。三。二。東曇 一。三。二。北晴	四。三。二。西晴 三。三。四。東曇 一。三。三。西曇

隊 戦 五 第 隊 襲 敵  
隊 部 表 隊 襲 敵  
撃 邀 艇 飛 敵

	1028 1029 ヲバウ止港外 ニ出勤		
要退ス P-38 ニ機米襲之ヲ	ヲ襲攘ス 妻對空戦ヲ實施之 敵機約一機米襲 直港外ニ出勤之ヲ邀		

26

三	三	三	三
ル	ウ	ハ	ラ
三三〇 曇 三四〇	三五二 曇 三五五	三三二 南晴 三五五	三三〇 東曇 三五五
三三〇 南曇 三七〇	三四〇 西晴 三五五	三三二 北晴 三五五	三三〇 東曇 三五五
三八七 曇 三七〇	三七五 北曇 三五五	三三五 南晴 三五五	三三〇 南 三五五
般	二第	隊	艇
一	第	隊	部
		面	方
		東	南
		艇	艇
		艇	艇

<p>1022 1240 出動</p> <p>直ニ湾外ニ出動邀撃 對空戦ヲ實施ス 級ヲ讓ス</p>	<p>P-38 ニ機未襲之ヲ 撃退ス</p>	<p>敵密偵若キトモビル 岬附近ニ上陸セリトノ 報ヲリ出撃準備 ヲ教ヘ敵言ヲ待機ス</p>
---	--------------------------------	---



三	三	三	三
五	五	五	五
一	一	一	一
南	南	南	南
晴	晴	晴	晴
四	四	四	四
三	三	三	三
六	六	六	六
北	北	北	北
曇	曇	曇	曇
二	二	二	二
南	南	南	南
曇	曇	曇	曇
八	八	八	八
三	三	三	三
四	四	四	四
二	二	二	二
南	南	南	南
曇	曇	曇	曇

隊 戦 五 第 隊  
 隊 部 集 襲  
 撃 邀 艇 艦 敵

		0954 5 1155 ニ出勤 コバウ止港外	0908 5 1050 ニ出勤 コバウ止港外
敵攻略部隊ヲ島 ニ上陸開始之ヲ邀襲 為急速出撃ヲ命 ゼラレタレテ敵退却 ヲ以テ出撃取止メト ナル	燃料搭載ス 羽黒午後 妙高午前 天南中	敵機約百機来襲 直ニ港外ニ出勤邀襲 對空戦ヲ實施之 ヲ襲撃ス	敵機約八五機来襲 直ニ港外ニ出勤邀襲 對空戦ヲ實施之ヲ 襲撃ス
長良ヲ襲撃 撃部隊ニ編入 サレタレタリ刻 之ヲ解カル			

27

壬		辛		壬		癸	
海航		ル		少		ハ	
五	一	四	一	四	二	五	〇
南	南	西	西	西	西	北	北
晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴
五	六	五	三	五	二	四	二
北	北	北	北	北	北	北	北
東	東	西	西	西	西	西	西
晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴
三	四	五	九	一	二	五	二
南	南	南	南	南	南	南	南
東	東	西	西	西	西	西	西
晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴

擊 邀 艇 艦 敵			
<p>1430 聯合襲撃部隊率 并引込出撃中</p>		<p>127 153 港外ニ出動</p>	
<p>敵大輸送船団艦艇 十数隻ニ護衛セラレ コトゾシヨシ島西方ヲ 北上ストノ報ニ依リ之ヲ 捕獲鐵威ノ任ヲ以テ 急速出撃中トシ島 方面ニ作戦ス (戦斗詳報第(字)巻照)</p>		<p>敵機約八五機未龍米 直港外ニ出動之ヲ 邀撃對空戦ヲ 實施之ヲ要壞ス</p>	

六廿  
廿

軍機

海軍少将 堀内 大佐 長官  
第五戦隊機密第五號ノ四〇

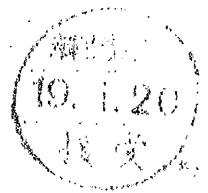
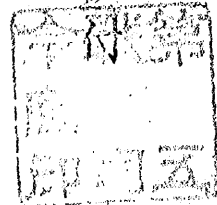
自 昭和十八年十一月一日  
至 昭和十八年十一月三十日

第五戦隊戦時日誌

第五戦隊司令部

一月五日

9  
12



一 經過 目次

二 人員現狀

三 令達報告等

四 作戰經過概要

昭和十八年十一月一日  
昭和十八年十一月三十日

第五戦隊戦時日誌

経過

敵情及我が軍ノ情況

十一月一日敵大部隊ハ、ホーゲンビル島西岸ヲタロキナ  
 岬上陸ヲ開始シ、我が聯合襲撃部隊ハ之ヲ邀撃  
 ホーゲンビル島沖海戦ヲ展開セリ  
 上旬敵航空部隊ハ連日、シヨートランド、コバウルヲ猛  
 襲シ、我が航空部隊ハ之ヲ邀撃、更ニ敵海上兵力ヲ隨  
 所ニ捕捉攻撃、多大ノ損害ヲ與ヘタリ  
 中旬敵ハ大型機ニ依ルヲタラフ方面空襲ヲ開始引  
 續キ艦上機ニ依ル空襲ヲ實施、十一月二十一日敵輸  
 送船團ハ大擧ヲタラフマキンニ來攻上陸、我が守備

(四)

隊ハ旬日ニ亘リ勇戦奮斗克ク之ヲ邀撃セルモ遂ニ消息ヲ絶ツニ至シリ

我が航空部隊亦克ク敵ニ痛撃ヲ加ヘ敵海上機動兵力ノ大半ヲ殲滅セリ

任務行動

第五戦隊ハ前月ニ引續キ南東方面第一襲撃部隊

隊トシテ「バウル」ニ在リテ警戒待機セル處 敵大輸送

船團ヲ「モ」島方面ニ邀撃ノ命ニ依リ十月三十一日

「バウル」出撃作戦セルモ遂ニ敵ヲ捕捉スルニ至ラスシテ

翌十一月一日歸投 即日更ニ右敵ヲ「タ」口キナ岬沖撃

滅スベク聯合襲撃部隊ヲ率テ再ビ「バウル」出撃

二日〇〇四五「ガ」外ニ敵艦隊ヲ捕捉此處ニホシ

「ヒ」島沖海戦ヲ展開多大ノ戦果ヲ收メ二日「バ

## 〔備考〕

ウルニ歸投セリ(當隊戰鬥詳報第一號及第二號參照)  
 歸投直後ヲバウルハ大空襲アリ急速出港之ヲ港外ニ  
 回避シツツ對空戰鬥實施聯合襲撃部隊ハ敵機  
 計五十一機ヲ撃墜スルノ戰果ヲ收メタリ  
 十月四日損傷箇所修理ノ爲ヲバウルハ發同六日  
 トラック着  
 十月七日附ヲ以テ南東方面部隊ヨリ除カテ遊撃部  
 隊ニ復歸セシメラレ 十二日「トラック」發同十七日佐  
 世保歸着 十九日第七船渠ニ入渠損傷復旧整  
 備工事ニ着手セリ  
 十月二十三日附遊撃部隊待機整備部隊ニ編入セ  
 ラル

ス

(一) ヲバウルニ於ケル對空戰鬥及ホーゲンビル島沖海戰  
ニ依ル當隊被害狀況別紙第一ノ通

(二) ヲバウル出港歸投ニ際シ同地陸揚セル主要物件  
別紙第二ノ通



(イ) 麾下艦船ノ行動所在

日	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇
妙	トバウル	トバウル	トバウル	航海	航海	航海	航海	航海	航海	航海
高	トバウル	トバウル	トバウル	航海	航海	航海	航海	航海	航海	航海
羽	トバウル	トバウル	トバウル	航海	航海	航海	航海	航海	航海	航海
黒	トバウル	トバウル	トバウル	航海	航海	航海	航海	航海	航海	航海

三	二	一	〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一
佐世保				(佐保王殿第七船渠入渠)								
同				同								
上				上								

一  
九  
一

三十	二十九	二十八	二十七	二十六	二十五	二十四
----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

佐  
世  
保

同  
上

4

人員現狀  
司令部  
職員官氏名

職	主	務	官	氏	名	記	事
司令官			少將	大森	仙太郎	土日奉旨附補水校長 壬午年日退任	
同			同	橋本	信太郎	壬午奉旨附補司令官 壬午年日着任	
參謀	首席	(水雷航空)	中佐	山田	盛重		
同	通信	(通信待機海運用)	少佐	半田	仁貴知		
同	機關	(機同工作整備應急)	同	松本	尚		
附	暗號	長	兵曹長	岩崎	吉惠		

2690

126

官報

○月報  
前二戰國詳報有

海軍功績調査部長殿  
五戰隊機象第五號ノ三四

昭和十八年十一月十五日

十一月十五日送付

海軍部

南東方面部隊聯合襲撃部隊戦闘詳報 第一號

自昭和十八年十月五日  
至同 年十一月一日  
沖ノ島北島南西方海面作戦

第五戰隊司令部

一八〇三三



19.11.23  
機 5

八  
九  
一

第七	第六	第五	第四	第三	第二	第一	目次
戰訓終所見	功績	戰果終被害	令達報告通報等	經過	計畫	形勢	

# 南東方面部隊聯合襲撃部隊戦闘詳報

## 第一形勢

### 一敵情

ハ 三十一日〇七五〇「ガツカイ」島、  
 220 20 理 = CX3 dx10 TX10 機アリ  
 Co 270° 速方 10  
 ハ 三十一日 〇七五〇「ガツカイ」島、  
 220 20 理 = CX3 dx10 TX10 機アリ  
 Co 270° 速方 10  
 ハ 三十一日 〇七五〇「ガツカイ」島、  
 220 20 理 = CX3 dx10 TX10 機アリ  
 Co 270° 速方 10

一三四五「バタヤ」南、  
 225 20 理 = CX4 機アリ  
 Co 315° 速方 20  
 一四三〇「シホ」島、  
 182 18 理 = dx8 及輸送船團アリ  
 Co 315° 速方 20

ハ 三十一日 於テハ三十一日 日出迄ニ夜間空襲警戒警報二回アリ

### 二天候

ハ 三十一日 於テハ三十一日 日出迄ニ夜間空襲警戒警報二回アリ

ハ 三十一日 於テハ三十一日 日出迄ニ夜間空襲警戒警報二回アリ

ハ 三十一日 於テハ三十一日 日出迄ニ夜間空襲警戒警報二回アリ

ハ 三十一日 於テハ三十一日 日出迄ニ夜間空襲警戒警報二回アリ

ハ 三十一日 於テハ三十一日 日出迄ニ夜間空襲警戒警報二回アリ

乙

八〇〇  
八〇〇

月齡 一〇九

日 没 三 土 日 八 三 七

### 第二 計 畫

#### 一 任 務

ホーゲン島南方海面ニ進出敵艦隊及輸送船團ヲ捕  
捉殺手滅スルニ在リ

#### 二 作 戰 計 畫

##### 一 作 戰 方 針

- 一 晝間ハ特ニ對空警戒ヲ嚴シク夜間ハ突嗟會敵ニ備ヘ  
ツツニ八節(22kg)及時雨ノ最大速力ヲ以テ一路ヨート  
ランド南方海面ニ向針南下レ敵ノ側方ヨリ迫ル如ク  
モノ島方向ニ東進會敵スル如ク進撃ス
- 二 飛行機ハ進撃途上ニ機宛三回ニ且リ發艦薄



暮時ヨリ日ノ島周辺ノ索敵觸接ヲ實施シ夜戦ニ協力セ  
シメタル後、力ニ歸投セシム

(12) 戦斗方針

- ① 全軍結束、儘敵ノ側ヨリ全攻撃力ヲ敵大巡戦隊ニ集ホ  
中ニテ之ヲ撃滅シ次テ残敵ヲ殲滅ス
- ② 敵分在セル場合ハ先ツ最近最有力ナルモヲ撃滅シ次テ  
機ヲ失セズ他ノ攻撃ニ轉ズ
- ③ 戦斗ニ際シハ分五砲威力ノ極度發揮ニ依リSdノ襲  
撃効果ヲ遺憾ナク發揮セシムルヲ衷眼トス

(11) 兵力區分

G SYB		區分	指揮官	兵	力
SSYB	SYB				
P	P				
SSd	SS				
SSd (川内)					
SSdy (文青水無音)					
SSdy (時雨、五月雨)					

八〇二

第三、經 過

一、指揮官ノ作戰指導

(三) 其ノ他

南東方面部隊第一(襲撃部隊)戰策ニ準據ス

三、作戰準備

以上作戰計畫ハ出撃前MTB各首席參謀ト打合ヲ遂ケ

時刻	月天候 時天候 時刻	内容
十月三十一日(水)	MTB信電作第一五二號	<p>一〇八〇頃敵大輸送船團カッカイ島南方ヲ西進中</p> <p>二、MTB第三襲撃作戰用意 但シ輸送任務ニ從事ス</p> <p>三、驅逐艦、潜水艦ハ豫定行動ヲ續行セヨ</p>
一一三五	SS信令第一四六號	

31 1235 電  
1: (25.11.9)

<p>第二出撃準備トナセ</p>	<p>一二五〇 SS 信令第一四七號 一第(出撃準備トナセ) 二直ニ飛行機ヲ揚收セヨ 但シ基地員各艦五名 ヲ殘留セシムルモノトス 三、一四〇。以後又々即時ニ又節分分待機トナセ</p>	<p>三四〇 NB 信電令第一五五號 GSYB (輸送ニ從事スルモノヲ除ク)ハ直ニ出撃準備トナセン 此島南方海面ニ進出敵艦隊及輸送船團ヲ捕 捉撃手滅スベシ</p>	<p>一四二五 SS 信令第一四九號 GSYB ハ NB 信電令作第一五五號ニ依ル敵ヲ今夜夜戦ニ 依リ撃手滅セントス</p>
------------------	---	---	--

4

<p>二、出港時刻ヲ一四三〇トス</p>	<p>一七四五 敵機ヨリ島ノ北西方運ニ在リコガ速力20ノ即ノ友軍機 一七四〇 敵輸送船ヨリ島ノ北西方運ニ在リコガ20度 電アリ</p>	<p>一九〇頃 島附近天候不良飛行機ノ行動不能ナルガ如シ(飛行機隊指揮官電報ニ依ル)</p>	<p>自三三〇 至三三〇 島南方30ノ運附近ニ敵ニ隊北西進中及目ノ島附近ヲ北上中ソノモアルヲ友軍機電ニ依リ知リ概不一日 〇〇一五頃 目ノ島西方ニ運附近ニ達シ之ヲ捕捉ス ベク針路必良ヲ以テ索敵進撃手ス</p>	<p>二二五二 「カカ」飛行場附近砲撃セラシ仰月亦敵大巡二三隻ヨリ攻撃セラレタルヲ知ル</p>	<p>〇〇三〇 目ノ島西方約八運ニ達セルモ視界六軒附近ニシテ敵ヲ見ズ友軍機亦敵ニ觸接シアラズ止ムテク反轉「カカ」</p>
----------------------	---	--	---	---	--

二、自隊及友軍、戰鬥經過

0三三0	島砲撃敵大巡隊ヲ邀撃スル如ク行動ス 遂ニ敵ヲ見ズ日出後敵機、被攻撃ヲモ考慮シ 冷度ノ針路ヲ以テヲホールニ向テ直航歸投ス
月日 時刻	自隊、戰鬥經過 友軍、戰鬥經過概要
十月五日(水) 一一三五	MTB 第三邀撃作戦用意
一一三五	第二出撃準備トナス
一一四八	28YB 八出撃二時間待機トナス
一一五〇	第一出撃準備トシ直ニ飛行 機ヲ揚收セム、一回〇〇以後26節 即時28節十五分待機トナス

5

一三〇五	零水(零観)第(三)装備観 測機左舷第一回射出三備へん	
一三一七		2SYB 出撃(時間待機トス
一三四〇	出撃手セヨノ指令アリ	
一四三〇	4SYB ハ 2SYB 1SYB ノ順ニコボレル出撃手	
一四五〇	二十節	
一四五六	二十四節	
一五一〇	金魚雷即時待機トス	
一五一二	二十六節	
一五三五	156度ニ変針第(警戒航行序列トス	
一五四〇	二十八節	
一五四五		135° ヨリ更ニ敵CX4 20ノ速力20ノ報アリ

一六一五	一七〇。以後30節即時最大戦速30分待機トナセ	
一六四八	130度ニ変針	
一七一ニ	各艦觀測機射出齊艦索敵ニ任セシム	
一七四〇		ヨリ敵輸送船EJ島ノ2835ニ在リ00320ノ報アリ
一七四五	145度ニ変針	
一八〇七	各艦水偵一機射出齊艦索敵ニ任セシム	
一九〇〇	突撃砲戦魚雷戦ニ備ヘ照明彈射撃手用意魚雷八第一而速、深度三米ニ段深度距離五軒トス	

6





〇二二〇	〇一一五	〇	〇一〇〇	〇〇三六	〇〇三〇	〇〇二五	〇〇一〇	十一月一日 一兩、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十	二三四三	二三三五	二三一五	二三一〇
350度=変針	艦内哨戒第一配備	Y羽黒 歸途=就ク	28節 295度=変針	20節第四警戒飛行序列=占位	取舵=反轉 0 280度	目=島地方敵輸送船ヲ見ズ (0005)	Y黒目=島如溪敵輸送船團ヲ見ズ (3335)		二十四節		起動弁ヲ開ク	100度=変針
												敵カ=西山産揚陸ス(弁 07kg)

八〇〇

一〇二〇	〇八〇四	〇七四八	〇六三〇	〇六五五	〇四〇〇	〇三五四	〇三四五	〇三三〇
GSYB ヨホー此歸着	28節トシヨホー此港口ニ向フ	30度ニ変針	右40度ニ脊回頭	0-24 機見左40度ニ脊回頭ヨホー此ノ中ニ	第三配備起動命令ヲ閉ム	31節即時最大戦速20分待機對空	開距離ニ對テ第一發我艦行序列ニ占位	ヨホー此ニ向フ 遂ニ敵ヲ見カレニ付30度ニ変針ヲ



<p>三月十四日 P 38d</p>	<p>三月十四日 P 55</p>	
<p>2SYB (55)</p>	<p>9SYB</p>	
<p>38d 信令第四號ニ依ルニ(三)敵機航行序列ニ於ケル駆逐艦占位ヲ左ノ通指定ス 及川内ノ右(左)ニ七駆(三ニ駆)距離五〇〇米 但シ空襲際ハ命令所定ニ依リ適宜距離ヲ 開クモトス</p>	<p>38d 信令第八號 38d 信令第四號ニ依ルニ(三)敵機航行序列ニ 彈色別ヲSNB電令作第三五号(音)ニ九發令通ス</p>	<p>三 出撃予定航路 各ニ隻川内ノ左右各五乃至七料 加セ止岬ノ90度六渾ヨリ針路60度回ト言ジ 岬如度九渾ヨリ針路30度九渾10度九渹如度トス 三 通信 二七日當隊信令第四四號ト同ジ 當隊飛行機ノ敵艦船發見時吊光投</p>
<p>號</p>	<p>號</p>	<p>號</p>

<p>NTB 指揮官</p> <p>三十一日四三八</p>	<p>△ SS</p>	<p>三十一日四〇</p>
<p>NTB</p> <p>三十一日六三〇</p>	<p>(2SYB)SS</p>	
<p>NTB 第三邀撃作戦發動 A法</p> <p>NTB 信電令作第一五六號</p> <p>三 第二地空標示法ニ依ル基莫ヲ引山島迄</p>	<p>一 第一直各艦觀測機ニセ。發進速ニモ信 島西。渾園外索敵攻撃觸接ニ。近 第二直各艦零水機ハ。發進第一直ノ 要領ニ依リ索敵觸接 第三直ハ各艦 零水機(指揮官ハ高飛行長)ニ。發 觸接</p>	<p>一、二 敵警戒飛行序列ニ於テ驅逐艦占位ヲ入 換ヘタルモノヲ夫々三、四 敵警戒飛行序列トス 今夜飛行機隊ハ左ニ依リ索敵觸接ニ任ジ 任務終了セバソレニ歸投命令ヲ待テ</p>
<p>魚</p>	<p>號</p>	

<p>VTB 指揮官</p>	<p>三百三十九 百〇一五〇</p>	<p>敵来攻部隊行動、全貌ハ未ダ 明瞭ナラ サルモ、西岸ニ上陸セル敵、兵力ハ大ナラザルモノ ニシテ、目下、處主カハ、島ヲ「ヤマト」トラント、部 ハ別止方面ニ上陸ヲ企圖シ、リト判断ス、SYBハ、 島方面進出シ、極力敵艦船捕捉撃滅務ムベシ</p>	<p>無電</p>
<p>↑ 279</p>	<p>一日〇〇〇五 SYB 2SYB 2P NTF 8F 河内基地</p>	<p>我敵、集束中砲火ヲ受ケタルモ、被害輕微ナリ 敵情、判明ヲ待テ、再興ヲ計ラントス</p>	<p>無電</p>
<p>三百五十三 AS</p>	<p>一日〇〇〇五 GSYB</p>	<p>今夜、味方識別連掲信號燈ヲ(青白)トス 先、敵ハ、以上ヲ伴フ重巡ニ乃至三隻ナルヲ 確實ナリ</p>	<p>信號</p>
<p>三百五十五 AS</p>	<p>AS (2SYB)</p>	<p>予定ノ行動ヲ續行スベシ 但シ輸送任務ニ従事シツツアル駆逐艦、六 隻、</p>	<p>電</p>

第五 戦果 並ニ被害

一 戦果  
二 被害

妙高 零水一着水時顛覆波没  
羽黒 零水一搭乗員共一行衛不明

<p>百〇三〇 GSYB 指揮官</p>	<p>8PP MTB (下 255f)</p>	<p>六乃至九料 司上島西方20哩ニ達スルモ敵ヲ見ズ附近視界 コ〇三〇反轉ヲカニ島砲撃手ノ敵ヲ激撃スル 如ク行動ス 〇三三〇ノ位置也下ヨリジノ岬ノ度23哩針路 三三五度速力ニテ八節</p>	<p>無 電</p>
------------------------------	---------------------------------	--	----------------

10

第六功績

飛行機隊が悪天候ヲ冒シテ索敵ニ任ゼシハ其勞苦大キガシモト認ム

第七 戦訓並ニ所見

古領地附近ノ海域ハ速ニ測量シ置クヲ要ス當夜利島附近ヨリ反轉後速ニツカシ島砲撃ノ敵大巡隊ノ南下ヲ邀撃セントモ毛田島南西岸ハ測量未済ニシテ暗岩多ク特ニハツボナ角ノ南西水深ニアル淺瀬ニ阻害セラレ之ヲ迂回北上ノ止チキニ至レリ

(終)